

香川高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	特別講義Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	5148		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建設環境工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	教員作成資料				
担当教員	小島 隆史				
到達目標					
1. 準天頂衛星システムの活用方法を説明できる 2. 抽出した課題を解決できるサービスモデルを提案できる 3. グループワークにおいて、作業の分担と他者への補助ができる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限の到達レベル	未到達レベル	
準天頂衛星システムの活用方法を説明できる	準天頂衛星システムの概要、特長を理解し、活用方法を説明できる。	準天頂衛星システムの概要を説明できる	準天頂衛星システムの概要を概ね説明できる。	左記に達していない。	
抽出した課題を解決できるサービスモデルを提案できる	自身で抽出した課題を解決できるサービスモデルを構築するために必要な要素を説明できる。	提示された課題を解決できるサービスモデルを構築するために必要な要素を説明できる。	提示された課題を解決できるサービスモデルを構築するために必要な要素を説明できる。	左記に達していない。	
グループワークにおいて、作業の分担と他者への補助ができる	自らできることを探して行い、メンバーが補助を必要としている時は皆で協力して作業を行えるような流れを作った。	自分の分担の仕事は成し遂げ、必要なときは他者の手助けもした。	自分の分担の仕事はこなしただ。	左記に達していない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本サマースクールでは、ビジネスに関する知識を学びながら、準天頂衛星みちびきを活用して身近な課題を解決するビジネスプランニングに取り組み、今、社会で求められているアントレプレナーシップを身に付けることを目的とする。				
授業の進め方・方法	オンデマンド教材を用いた事前学習と、グループワークを中心とした対面形式のワークショップ形式で行う。事前学習を通じてみちびきの概要について学び、対面形式では事業アイデアの創造から市場におけるマネタイズの方法や優位性の検討、資料のデザイン等について学び、その後実際にグループワークを通じてビジネスプランニングを実施する。得られたプランに関する成果発表会を実施する。				
注意点	- 事前学習教材は講義の開始前に各自で視聴する必要がある。視聴環境を準備の上、講義に支障がないよう受講すること。 - プレゼン資料の作成等を実施するため、ノートPCやタブレット等のデバイスを準備のうえ受講すること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オンデマンド教材を用いた事前学習	ガイダンスを視聴し、講義の概要と到達目標を理解する	
		2週	オンデマンド教材を用いた事前学習	みちびきの技術解説に関する教材を視聴し、みちびきの技術的な概要を理解する	
		3週	オンデマンド教材を用いた事前学習	みちびき活用事例に関する教材を視聴し、みちびきがどのように活用されているか概要を理解する	
		4週	チームビルディング	実習に取り組むチームを決め、チームで作業をする準備をする	
		5週	事業アイデア創造	チームで事業のアイデアを創造するという点について理解する	
		6週	市場	考案した事業と市場との関係について理解する	
		7週	マネタイズ	マネタイズの方法について理解する	
		8週	競合優位性	チームの事業について分析し、競合との優位性を理解する	
	2ndQ	9週	資料デザイン、成果発表ガイダンス	議論の内容をもとに、成果発表会に向けた資料作成の計画方法について学ぶ	
		10週	グループワーク [ビジネスプランニング 1/2]	グループワークを通じ具体的にビジネスプランニングを行う	
		11週	グループワーク [ビジネスプランニング 2/2]	グループワークを通じ具体的にビジネスプランニングを行う	
		12週	プレゼン資料作成	成果発表に向けてプレゼン資料を作成し、発表準備を行う	
		13週	プレゼン資料作成	成果発表に向けてプレゼン資料を作成し、発表準備を行う	
		14週	成果発表会	作成した資料をもとに、作成したプランの発表を行う	
		15週	振り返り		
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			

		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	3	
			提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。	3	
			経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	3	

評価割合

	事前学習レポート	成果発表におけるプレゼンテーション	相互評価	合計
総合評価割合	20	70	10	100
準天頂衛星システムの活用方法を説明できる	20	0	0	20
抽出した課題を解決できるサービスモデルを提案できる	0	70	0	70
グループワークにおいて、作業の分担と他者への補助ができる	0	0	10	10